

03

道路や施設をつくるための土地を
計画に合わせて改良・整備する仕事

上武建設 株式会社

生駒市北大和4-21-2 ☎0743-78-7191 http://www.kamitakekensetsu.co.jp
設立: 1981年4月 従業員数: 159人



ウェブページ
を見る



動画を見る



詳しくはお問い合わせください



最新技術を搭載した大型重機で
街や暮らしの土台をつくります

道路やビル、住宅などを建築するための土地を、ショベルカーやブルドーザーといったいろいろな重機を使って改良・整備するのが土木工事業です。工事の規模はさまざまで、災害に対する予防・復旧の工事も行います。安心して暮らせる地域や街の、土台づくりをする仕事です。



土地の土台づくりってどんな仕事?

高低差や斜面の有無、地盤の強さの違いなど、土地は地域ごとにさまざまな性質を持っています。そのため、道路やビルなどをつくるよりも先に、重機を使って土地そのものを改良・整備し、より安全な環境をつくり上げるのが土地の土台づくりです。



高ければけずり、
低いならうめる

さまざまな重機を使い分けながら、高くなっている所(山)からは土をけずり出し、低くなっている所(谷)には土を入れてうめ立てていきます。



作業ごとに、
重機の種類は
違うんだよ!

地面を平らにする

けずり出した土や、別の場所から運んできた土を重機でおし動かして、地面を平らにしています。計画によって、水平にしたり斜面にしたりと、処理の仕方はさまざまです。

どんな重機が使われているの?



土をほる
重機

大きなショベル
で山をけずった

り、地面をほり起こしたりするための重機です。また、ほった土をダンプカーにのせ作業でも使われています。



土を移動す
る重機

ダンプカーと
呼ばれる重機

で、けずったりほったりして出た土や大きな石などを、別の場所まで一度にたくさん運ぶことができます。



土をおして
動かす重機

車体の前面に
あるブレード

で、土をおして移動させる重機です。また、土を平らにならして地面の高低差をなくす作業にも使われます。



地面を固め
る重機

大きくてとても
重い、鉄

製のローラーが付いた重機です。このローラーで、土を上からふみしめて、地面をしっかりと固めます。



地下をほる
重機

今いる地面より、さらに下

の場所にある土をほることができる重機です。写真の重機の場合、地下20メートルまでほることができます。



土を遠くま
で運ぶ重機

ほり起こした
土を遠く

の場所へ運んだり、うめ立てるための土を遠くから運んでくる場合には、一ぱん道路も走行できるダンプカーを使います。

土木の仕事は進化しています



モニター

通信技術などの発達により、工事現場の管理方法や重機の操作方法は進化しています。例えば、広い工事現場の全体や、重機や人がどの場所で作業しているのかも、モニターを通して一目ではあくできます。また、重機の遠く操作や半自動操縦化も進んでいます。

こんな人が働いています

工事副本部長 / 木下謙三さん

ICT技術により画面上で現場の状態を把握したり、災害などで危険な場所もドローンを使って安全に見ることが出来ます。技術の発展により効率よく作業ができるようになりました。



重機オペレーター / 四方山くるみさん

土木工事の現場でダンプカーを運転し、ほった土を運んでいます。現場が少しずつ計画していた通りになっていくのが、とても楽しいです。今は、現場長になることを目指してがんばっています!



この仕事の
魅力

科学技術や工業技術の発展によって、土木工事の現場はみるみる進化しています。近い未来の工事現場は、さらに安全で、また性別を問わず活やくできる職場になっていることでしょう。機械が好きな人にとっても、きっと楽しい仕事だと思います!